

元上場企業国際法務担当部長×元インハウスマローヤーが伝授！

全ての法務・コンプライアンス担当者に送る

“世界で通用するコンプライアンス活動”を身につけるための「コンプライアンス・ワークショップ」

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年 12月 2日(月) 13:00~17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

《開催にあたって》

「コンプライアンスを“自分事”と捉えることが大切」とよく聞きますが、「自分事として考えてください」と唱えるだけで済むのであれば苦労はありません。営業部門は表面的には分かった振りをしている、内心では繰り返される無味乾燥なコンプライアンス研修に辟易しており、何をやっても「他人事」のまま。それがコンプライアンスの現実ではないでしょうか。私たちは、国際法務担当部長、インハウスマローヤー時代から、長い間こうした現実に向かい、コンプライアンス研修の経験を重ねてきました。その数、全世界で合計 60 社、100 部門、20,000 人以上。その全てに本気で取り組み、改良に改良を重ねた魂の結晶が「コンプライアンス・ワークショップ」です。数えきれないほどの失敗と、受講者たちからの厳しいフィードバック、そして気の遠くなるほどの試行錯誤によって磨き抜かれた、世界で通用するコンプライアンス研修のノウハウを皆さんにシェアしたいと思います。

講師 Big West Brothers Consulting & Solutions
代表 大西徳昭氏

講師 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業
パートナー弁護士 三浦悠佑氏

講師紹介
慶応義塾大学法学部政治学科卒、米国 Emory 大学経営大学院 (MBA)、日本橋法律事務所フェアードレイト推進グループ長(国際法務コンプライアンス・独法法務担当)、(株)ユニテックス取締役執行役員等経営要職を歴任後、現職、企業経営者・法務/コンプライアンス部門に対し「コンプライアンスアドバイザー」として契約的かつ有効な企業法務・コンプライアンス活動の実現のためのコンサルティング支援・研修を実施中。7月より SMC コンサルティング公關理事でコンプライアンス講座を実施。2013年にMBAビブレ「L」ごとの基礎英語 等幅広く活躍中の大学教授であり、実務である大西泰斗との共著で「ビジネス・マンの英語(日本実業出版社)を執筆。自経グループは研修講師等、異文化対応・英語プレゼン・キャリア研修等法務分野以外の公開セミナー・企業研修・軌道活動等も幅広く行う。

講師紹介
一橋大学法学部商学科卒(国際マーケティング)。2006年弁護士登録。国内法律事務所勤務を経て13年に現在の事務所へ入所、17年より同事務所パートナー。大手国際法務企業に3年間出向し、本社及びグループ企業を対象とした独法法務コンプライアンス及び法務機能の強化プロジェクトに従事。その他、大型投資詐欺事件の被害者対策等、大手メーカーの不祥事対応など、豊富なコンプライアンス違反の現場経験を有する。現在クライアント企業のコンプライアンス案件に多数従事する傍ら、SMC コンサルティング、Business Law Journal 等におけるコンプライアンスセミナー、執筆を積極的に展開している。

《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用方法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	35,200円(本体価格 32,000円)	一般	38,500円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

《事業コード: 191754-0303》 「コンプライアンス・ワークショップ」

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当宛 E-mail からもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問 (FAQ) は当会 HP にてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/夙秋 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F 【DM変更連絡】03-5215-3512

.....プログラム.....

Part 1 研修企画のワークショップ

○ポイント

最初のワークショップは、研修の企画にあたり、コンプライアンス部門内で行うワークショップです。「ヒトゴト」になってしまった人の心を動かし「ジブンゴト」として考えてもらうためには何が必要か、考えていきます。

① Introduction

ビジネスサイドから見たコンプライアンス研修
~知識伝授型のコンプライアンス研修から生まれる「やらされ感」

② ワークショップ

あなたが良かったと感じた研修はどんな研修ですか? あなたが研修において心掛けていることは何ですか?

③ まとめ

コンプライアンス研修を単に知識を披露・伝授するだけの場にしてはいけない

Part 2 コンプライアンス・ワークショップ

○ポイント

前半のワークショップでは、「コンプライアンスとは何か?」について専門家の話や文献から得た知識を一旦離れて、自分の頭で自由に考え、自分たちの言葉で発表してもらいます。続く後半のワークショップでは、正論では割り切れないコンプライアンス現場のジレンマについて話し合い、解決の糸口を探っていきます。「自分のアタマで、自分のギモンについて考える」ことで、ヒトゴト=他律的なコンプライアンスから、ジブンゴト=自律的なコンプライアンスへの脱皮を目指します。

『ワークショップ① コンプライアンスについて自分のアタマで考える』

① Introduction

教科書には載っていないコンプライアンス違反の現実
~コンプライアンス違反は同僚の、その家族の人生を狂わせる

② ワークショップ

「コンプライアンス」とは何でしょうか? 「コンプライアンス活動が上手いく」とはどういうことでしょうか?

③ まとめ

コンプライアンス活動をジブンゴトにするためのカギ=オーナーシップ

『ワークショップ② 正論では割り切れない領域について知恵を出し合う』

① Introduction

日本型不祥事の原因風景
~「普通の人」が不祥事に手を染めてしまう心理とは?

② ワークショップ

コンプライアンス活動が上手くない原因はどこにあるのでしょうか?
「正しいことを正しく行う」ために足りないものは何でしょうか?

③ まとめ

「サラリーマンだから仕方がない」に立ち向かうために

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。